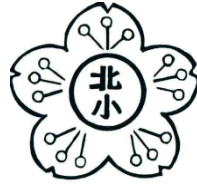


北小物語2018

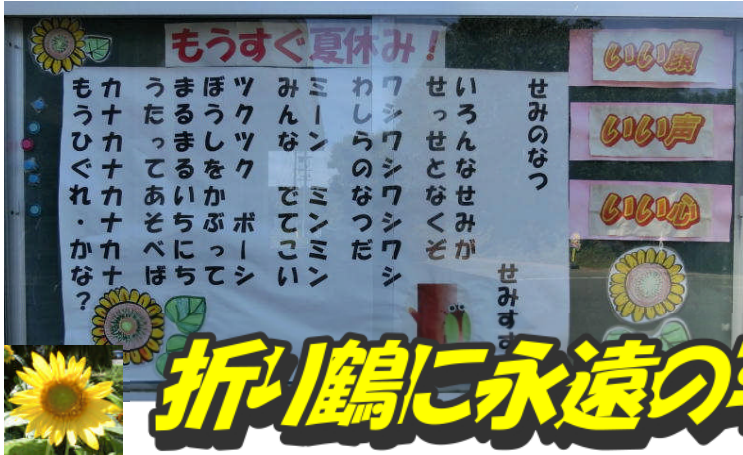


平成30年 7月13日
平戸市立田平北小学校
学校通りNo. (32)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 「いい顔」「いい声」「いい心」 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第32話：「折り鶴に永遠の平和を願う：北っ子の思いが届きますように！」の巻 ☆☆☆



折り鶴に永遠の平和を願う!

「おじいさんは むかし 飛行機に乗って・・・♪」朝の交通指導からの帰り道、校舎から子どもたちの、何とも味わい深い歌声が聞こえてきます。子どもたちが歌っているのは、8月9日(木)の平和集会で歌うハートソング『この時代に』。今は、かわいい絵が描かれた飛行機が旅客の夢を乗せて大空を飛ぶ時代ですが、おじいさんが若いころ、大空を飛ぶ飛行機は黒い鉄の塊であり、恐ろしい戦いの道具でした。時代は移り変わり、一見平和な世の中が訪れているようですが、この歌の作詞・作曲家である中山真理氏は、この時代を「にぎやかで寂しい時代」と言っています。そして、このような時代に、「ぼくは何をしよう、ぼくはどう生きよう」と自問して、歌が終わります。



この時代に



おじいさんはむかし 飛行機に乗って
戦いにでかけたよ 何の疑問ももてずに
時が変わっておじいさんは
帰ってきたけれど たくさんの友達が
命 落としたりよ
かわいい絵をちりばめた 飛行機が夢を
乗せて 大空を飛ばたくこの時代に
ぼくは 何をしよう



おじいさんは言った えらくなろうとか
認められようなんて 考えない方がいい
愛するもののために 力つくしたら
何ものこらないのが あたりまえだから
人と比べること自分を確かめるような
にぎやかで寂しいこの時代に
ぼくは どう生きよう



今、北小では、全校児童が縦割り班ごとに一羽一羽、心を入れて手折りの「折り鶴」を作っています。上級生が下級生に折り方を教え、見つめ合いながら「鶴」が完成していくその光景は、平和の1シーンです。出来上がった「鶴」を6年生が、これまた一羽一羽、大事そうにつなげていきます。9月の修学旅行でみんなの願いを平和公園に手向けます。これが今できるぼくたち北っ子の生き方です。